

おおたボランティア ハンドブック

— 出会い、つながり、広がる 笑顔 —



大田区社協イメージキャラクター
あいちゃん



大田区社協 発

地域づくりへの第一歩

ショートムービーが完成しました

公開中

大田区社会福祉協議会
公式YouTubeチャンネル



目次	『ボランティア』って何?	2
	ひとりでも始められる活動がしたい ..	7
	絆サポーターとして活動したい	11
	地域の方といっしょに活動がしたい	14



『ボランティア』って何？



ボランティア活動とは

個人が自発的に、自分以外の誰かのために、見返りや報酬を求めずにする、よりよい社会をつくるための活動のことです。

自分に関心のある身近なことから始められ、その結果、自己実現をはかることができ、ともに支え合う地域社会づくり、共生社会の実現につながることも期待されます。

Volunteerという言葉

語源は古典ラテン語の「volo」に由来し、willと語源を同じにする言葉です。日本語では「喜んで～する」という意味があり、人々が自発的に何かをやりたい気持ちを表す言葉といえるでしょう。



多様なボランティア活動の例

活動の分野や領域は広がって、活動形態も多様になっています

- ◆ 一人暮らしの高齢者、障がいのある人を対象とした生活支援活動や見守り活動
- ◆ 子育て中の家族の交流の場づくりや、地域で孤立しがちな人のための居場所(サロン)の提供、
- ◆ 子どもや青少年等を対象とした活動、居場所づくり、学習支援、こども食堂など
- ◆ 災害で被災した方を支援する活動
- ◆ 地域活性化をめざした活動、交流イベントの開催
- ◆ 清掃・環境保護、リサイクル活動、動物保護など
- ◆ 美術館や博物館での活動、伝統文化の継承・普及
- ◆ 防犯・交通安全、悪質商法からの被害防止
- ◆ 外国にルーツのある人への支援活動、海外支援



『ボランティアセンターに行って…活動について相談しよう』

窓口では、ボランティアに関するさまざまな相談や登録、コーディネートを行っています。

- ボランティア活動を始めたい方のご相談を受けます。
- ボランティア活動の情報のさがし方をご案内します。
- 団体の立ち上げや、運営の方法についての相談を受けます。
- 団体への助成金についての相談を受けます。
- 団体のネットワークづくりを支援します。
- 企業の社会貢献活動のご相談を受けます。
- 企業と団体の活動のコーディネートをしします。



ボランティアセンターのサービス紹介

- 団体・個人のボランティア登録を受け付けています。
- 登録団体には、社協のホームページ・情報誌への掲載協力をしています。
- 登録団体は、印刷機（紙は持参）・紙折り機を無料でお使いいただけます。
- 福祉体験器材の貸し出し

- 高齢者／障がい者疑似体験セット（大人用・小人用）、車いす・白杖・点字器
- 妊婦体験ジャケット・育児体験セット（沐浴人形）
- 避難所運営ゲーム（HUG）等



疑似体験セット



車いす



白杖



点字器



妊婦体験ジャケット



沐浴人形

- ユニバーサルスポーツ用具（ボッチャ、カーレット）の貸し出し、および指導者の派遣
- 車いすの短期貸し出し
- ボランティア保険・行事保険の受付 ➡ 21ページ参照

ボランティア・メッセージ

1. 社会人になりボランティア活動に参加(20代・男性)



- ボランティア活動を始めようと思ったきっかけは、仕事以外で同じ年代の人とつながりたい、と思ったことでした。
- 昨年の「夏体験! ボランティア」(大田区社協主催)をきっかけに、仕事をしながら切手整理ボランティア活動等を継続中です。
- 「やってみることが楽しいし、経験になる」「そして人のためになる!」と、やりがいを感じています。これから障がいのある方との活動もやってみたいです。

2. 経験を積んでボランティア活動に参加(60代・女性)



- ボランティア活動は、経験が第一です。心と心が近づいて、初めて傾聴ボランティアの活動が始まるのです。
- 最初は、慣れずに戸惑うこともあります。そこは仲間同士で助け合って、一緒に経験を積んできました。
- 活動を終えて帰る時に、「ありがとうね、また来てね」なんて言われると心が温くなり、「またがんばろう」と思います。人と人のつながりって、心が温くなるんです。



ボランティア活動時の留意点

1. ルールや約束は、必ず守りましょう。

- 都合が悪くなったり遅刻しそうになったら、早めに活動先に連絡しましょう。
- また、活動先のルールを必ず守りましょう。

2. あいさつは、忘れないようにしましょう。

- 活動先では、利用者の方や職員、他のボランティアにあいさつすることが大切です。
- 初めにきちんとした挨拶ができれば、気持ちよく活動がスタートできます。

3. わからないことは、無理に判断しないようにしましょう。

- 自己判断の活動は、活動先の利用者の方や、自分自身の安全を損なうことがあります。
- 自分だけで、無理な判断や行動をしないようにしましょう。

4. 対象者の方や、職員等の気持ちも尊重しましょう。

- 活動先では、自分の考えや思いをおしつけないようにしましょう。
- 謙虚な気持ちで対象者の方に接することが大切です。

5. 個人情報もしっかり守り、相手の立場を尊重しましょう。

- 知り得た個人情報は、他の人に話さないことをしっかり守りましょう。
- 他のボランティアを尊重して、チームワークを大切にしましょう。

6. もしもの事故に備えて、留意しましょう。

- 活動中に対象者も自分自身もけがをしないよう、充分留意して活動しましょう。
- 万一の事故に備えて「ボランティア保険」に、加入してから活動しましょう。

ボランティア活動の

4つの原則



1 自分から進んで行動する『自主性・主体性』

ボランティア活動は、自分自身の考えによって始める活動であり、だれかに強制されたり、義務として行うものではありません。

友達から誘われたり、ネットやテレビ、新聞で見かけたり、どんなきっかけでも、自分自身の「やってみよう」という気持ちから、ボランティア活動がはじまります。

2 ともに支え合い、学び合う『社会性・連帯性』



わたしたちの社会には、福祉、貧困、自然保護などのさまざまな課題が存在します。こうした課題を発見し、改善していくためには、一人ひとりが考えることと、多くの人々と協力しながら行動することが大切です。

ボランティア活動では、ともに支え合い、学び合いながら、一人ひとりが力を合わせて活動することが必要です。

3 見返りを求めない『無償性・無給性』



ボランティア活動を通して、さまざまな人々と何かを成し遂げたり、つくりあげた時、お金では得られない出会いや発見、感動、そしてよろこびがあります。

ボランティア活動は、報酬や金銭的な見返りを目的にするのではなく、精神的な報酬を得るための活動なのです。(ただし、交通費や食費、材料費などの実費弁償については無償の範囲と考えられています。)

4 よりよい社会をつくる『創造性・先駆性』



目の前の課題に対して、何が必要なのか、そして、改善のためにはどうすればよいか。

ボランティア活動では、従来の考え方にとらわれることなく、自由な発想やアイデアを大切にしながら、方法やしぐみを考え、創り出していくことが大切です。



福祉教育：福祉学習の推進



- 福祉教育:福祉学習の推進とは、地域のみなさまと共に福祉について学び、共に考え、行動する力を養うことをめざしています。学校だけでなく、地域をよりよくしていく学びにつなげています。
- おおた地域共生ボランティアセンターでは、これまでは小・中学校での福祉学習を推進してきました。高齢者福祉等の講義学習と、高齢者疑似体験、白杖体験、車いす体験、点字体験等の体験学習を基本に行っています。
- こうした、講義と体験の学習とあわせて、調べ学習を福祉学習で推進している小学校もあり、ボランティアセンターでは、今後はより幅広い福祉について考える相談対応やプログラム開発をすすめていきます。
- そのためにも、協力して頂いている区内の地域包括支援センターや障がい者総合サポートセンター、関連福祉事業所とあわせ、民生委員児童委員、ボランティア、企業、PTAやスクールサポーター等、地域住民の参加を広げていきます。



地域福祉コーディネーターと ボランティアコーディネーター



- おおた地域共生ボランティアセンターでは、地域共生担当の地域福祉コーディネーターと、ボランティア担当（ボランティアコーディネーター）とが連携して、区内で福祉のまちづくりをすすめています。



地域福祉コーディネーター

- 生活上の悩みや困りごとを抱える方に対し、様々な機関・団体と連携しながら課題の解決を図るとともに、居場所づくり等、住民主体の活動を推進しています。
- こうした、居場所を紹介したり、居場所の立上げを支援したり、企業と市民活動団体をつないだりする職員が、地域福祉コーディネーターです。

ボランティアコーディネーター

- 区内で活動するボランティア活動の情報を把握し、活動を希望する人に情報を提供し活動団体につなぎ、活動参加への機会の提供等を行っています。
- こうした、ボランティア活動の需給調整、情報提供・相談、交流・普及、ネットワークづくり等を行う職員が、ボランティアコーディネーターです。

特技ボランティアとして活動しませんか？

特技ボランティアとは？

趣味や仕事で培った特技・ノウハウ・経験を活かして活躍するボランティアです。施設や地域のイベント等で活動している方々のことです。

登録を
お待ちしております！

／＼ こんな皆さんが活躍中です！ ／＼



囲碁・将棋・麻雀



コーラス



フラダンス



手芸指導



南京玉すだれ



バルーンアート

活動先は

高齢者施設(高齢者ホーム、デイサービス等)、障がい者施設、保育園、つどいの場(サロン)、シニアステーションなど

福祉施設等のレクリエーションで

クリスマス会やお誕生日会などや日常のゲームのお相手などで楽しいひと時をお届けしています。

地域のイベントで

自治会のイベントを盛りあげて、皆さんに楽しんでいただいています。

切手整理ボランティア ・使用済み切手収集

切手整理ボランティア



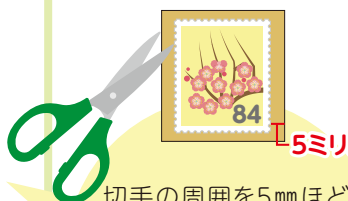
大田区社協では使用済みの切手を集めています。その切手を整理するボランティア活動を月に1回行っています。はさみ一本で始められるボランティア活動です。集まった切手の四辺を切り取り、売却できるように整えます。

日 時 毎月第3木曜日 13:30～15:00

場 所 大田区社会福祉協議会 4階会議室

集中して作業する方や
おしゃべりが弾む方もいっしょに、
楽しく作業しています。
初めてのボランティア活動におすすめです。

換 金



切手の周囲を5mmほど残して切り取ってください。その際、切手の周りのギザギザ部分に切り込みを入れないように注意してください。



お米



受け取った現金でお米を購入します。
使用済み切手を整理することで
お米が寄附でき、
「米1トンプラン」と呼んでいます。
購入したお米は
認定NPO法人グッドネーバーズ・ジャパンを通して、
ひとり親家庭などに配布されます。



資料:認定NPO法人 グッドネーバーズ・ジャパン

切手買取業者に売却します。
区内で集めて、整理した使用済み切手が現金になります。



使用済み切手募集

だれにでもできるボランティア
「使用済み切手収集」!

現在、使用済み切手が
大変不足しています。
ご家庭や企業にある使用済み切手を
集めて寄附していただけませんか?



大田区社協の窓口か郵送で受付をしています。
封筒等から余白を多く残して切ってください。
※申し訳ございませんが、郵送料はご負担ください。



夏！体験ボランティア

「夏！体験ボランティア」は夏の長期休暇期間に区内のさまざまな福祉施設、ボランティア団体でいろいろな体験ができる活動プログラムです。1日～1週間程度のボランティア活動に申し込むことができます。初めてのボランティア活動の第一歩に！新たなボランティア活動へのチャレンジに！たくさんの方のご参加をお待ちしています。



体験ボランティアの例

高齢者・障がい者を対象とした活動

老人ホームやデイサービス・作業所での活動補助、話し相手、レクリエーションの補助、外出やお祭りのお手伝い等



こどもたちを対象とした活動

保育園内の活動補助や園児との遊び、こどもの学習や居場所の活動支援等



自然や環境を守る活動

花壇や農園の手入れ、水やり、地域の清掃等



地域の活動

こども食堂、フードパントリーの手伝い、食料の仕分けの手伝い、災害ボランティア等



その他

博物館や病院での活動等



参加者からの声

障がいのある方に対して私の中にある偏見に気づいた。

活動を通じて他者とのつながりの大切さや社会貢献の意義を実感した。

積極的に人と関わりたいと思えるようになりました。

初めて会い、話す人であってもこちらから歩みよってみればなにか返してくれる。

絆サポート・助っ人サービス 絆サポーター説明会

絆サポーター説明会



絆サポート、助っ人サービス、ほほえみ訪問、ほほえみごはんで活動いただくために、説明会に参加いただき、絆サポーター登録をお願いしています。

開催日時 第2・4週の火曜日10時～11時、木曜日14時～15時

申込 予約制(参加希望日の一週間前までに、お電話か大田区社協HPより申込みください)

場所 大田区社会福祉協議会
(大田区西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター5階)



絆サポーター
募集

絆サポート

絆サポートではボランティアの気持ちを持った「地域の方」が、サポートの必要な高齢者、産前産後の方、障がいのある方のお宅に伺い、家事支援をしています。

主な活動内容 掃除・買い物・洗濯・料理などの日常家事支援

活動時間 月～金曜日9時～17時のうち、30分～2時間

サポート料(謝礼金) 30分500円

利用対象者 高齢者、産前産後の方、障がいのある方



助っ人サービス

ご家庭にサポートできる方がいないために、単発のサポートを必要としている方に、ちょっとした困りごとの支援をしています。

主な活動内容 ちょっとした困りごとの支援
(季節の衣類や家電の出し入れ等)

サポート料 300円(20分以内の活動)

利用対象者 高齢者、障がいのある方で、単発でのサポートを必要としている方



ほほえみ訪問

「ほほえみ訪問」事業では、ボランティアが区内の高齢者や障がいのある方のお宅へ月に2回程度訪問し、安否の確認や、福祉サービスの情報提供等を行っています。



活動内容 月2回程度の利用者さん宅訪問、見守り、大田区社協への報告等です。年に数回研修会・交流会を開催し、安心してボランティア活動を継続できるよう大田区社協がサポートします。

活動時間 月～金曜日 9時～17時 1回あたりの訪問時間は5分～10分程度

活動者の声

毎回、利用者さんにお会いするのが
楽しみで、自分も
元気になる
活動です。

さりげない
見守り活動なので、
利用者さんも
ボランティアも
負担が少ないと
思います。

利用者さんに
訪問を喜んでいただき、
「いつもありがとう」との
言葉にやりがい
を感じています。

高齢者、障害のある方の生活に安心を。

ほほえみ訪問事業

ボランティア募集!



高齢者や障害者のお宅へ、ひと月に2回程度訪問するボランティア活動です。玄関先でのあいさつや会話を通して、安否の確認や、福祉サービス情報提供等を行います。

協力者 大田区内にお住まいの方で健康な方
ほほえみ訪問の趣旨にご賛同いただける方

活動時間 平日（月～金曜日）午前9時から午後5時
・ご利用者お一人あたりの訪問時間は、5分～10分程度です
・土日、祝祭日、12月29日～1月3日はお休みです

ご利用者の声
一人で家の中で過ごしているので、だれとも話をしない日もあり不安でしたが、ほほえみ訪問を利用してからは心強いです。

お気軽にお問合せください
☎5703-8230
大田区社会福祉協議会 TEL 144-0521
大田区東山7-40-2

ほほえみごはん

「ほほえみごはん」事業では区内の子育て世帯を対象に月に1回食料品を直接自宅にお届けし、子育ての応援と見守りを行っています。



活動内容 大田区社協から届いた食料品の袋詰め、利用者さんへのお届け（月1回）、見守り、大田区社協への報告等です。年に数回ボランティア同士の学びあいや交流の場を設け、安心してボランティア活動を継続できるよう大田区社協がサポートします。

活動時間 月曜～土曜日 9時～19時
1回あたりの訪問時間は5分～10分程度

活動者の声

月1回であっても訪問を重ねるとお子さんの笑顔やママの頑張り、自分が出来ることをサポートしたいと改めて思います。

毎月訪問するので程よい関係性を育みやすいと感じました。また月1回なので負担感を感じる事が少なく継続しやすかったです。

利用者さんとの繋がりが深まってよかったです。

月に1回でしたが、多少でも人のためになれることが私にもできるんだと思いました。



ご近所さんコラム

ご近所さん事業とは？

出産予定日のおおよそ2か月前～0歳児を育てるご家庭に、ご近所さん（地域のボランティア）が、月1回訪問し、子育て支援グッズや地域の子育て情報をお届けします。また、玄関先で短時間お母さんとお話しをします。

利用できる方 出産予定日のおおよそ2か月前から0歳児を育てているご家庭
※お子さまの1歳のお誕生月で終了となります。

対象地区 嶺町特別出張所管内と大森東特別出張所管内

利用者の声

いつも子どものことを「かわいい、かわいい」といってくれて、それだけで大変励みになりました。

育児に関してのちょっとした不安や疑問で、病院などに電話する程でもないことでも気軽に聞けるのがありがたかったです。



↑詳しくはこちらから

こども食堂

区内には「こども食堂」が59箇所あります。(20
大田区社協では、「こども食堂を運営している」
こども食堂を応援したい個人・企業等の相談に

こども食堂って どんなところ？

こどもが一人でも安心して利用できるよう、地域の方たちが無料または低額で食事を提供しています。開催回数や内容も、さまざま。食事だけでなく、体験や学習の場、多世代交流などいろいろなカタチがあります。誰でも気軽に集まれるみんなの居場所です。

活動の様子



会食の様子



調理の様子



朝ごはんの提供



お弁当の提供



勉強・居場所の様子



遊びの様子

こども食堂マップ

※開催状況が変わる場合
もあります。最新の情報は、
各団体のSNS等をご確認
いただくか大田区社協まで
お問い合わせください。



↑詳しくは
こちらから



24年10月1日時点)

「新たに立ち上げたい」方の支援と、
のり、想いをつなげています。

「大田区こども食堂連絡会」
ロゴマークは、
こども食堂を利用している
大田区内の小学生が
デザインしたものです。



大田区こども食堂連絡会

大田区社協は「大田区こども食堂連絡会」の事務局を担っており
以下のようなサポートを行っています。

1. 立ち上げ・運営の相談
2. 広報、情報発信
3. 寄附食料や物品等の提供
4. 「こども食堂連絡会」の開催

● 連絡会の様子

地域でこども食堂を運営している人たちが交流をし、こども食堂の輪を広げるための場として年3回程度開催しています。



こども食堂を応援してくださる方へ

こども食堂または、こども食堂連絡会事務局(大田区社協)まで事前にご相談ください。

● ボランティア活動

例) : 調理・配膳・学習補助・遊び・こどもの見守り・配送・食材の仕分け 等

● 食料品寄附

必ず賞味期限をご確認ください。冷凍冷蔵食品を受け付けているところもあります。

● その他

寄附やイベントのチラシなどを送りたい場合等

災害ボランティア

大規模な自然災害が発生した際、見返りを求めず、自発的に行う被災者支援活動です。（出典）

三者協定による協働運営

大田区で大きな災害が起こった場合、区・社協・地域団体の三者が協働で、「災害ボランティアセンター」を運営します。

平時には、三者が連携して講座や訓練等を行っています。

地域パートナーシップ支援センター

- 被災地支援経験者向けの勉強会等、災害ボランティア経験者のネットワーク

大田区

- 庁内の調整役
- 区民への周知啓発

三者協定

社会福祉協議会

- センター事務局
- 災害ボランティアバンク機能



講演会



講座



訓練



災害ボランティアバンク登録者交流会



被災地への支援活動が、

：政府広報オンライン）



災害ボランティアバンク

大田区が被災した時に、住民同士で助け合うため、事前に災害ボランティアとして登録していただく取組です。平時には、講座や訓練等についてご案内します。

大田区災害ボランティア登録募集！

その時、あなたの力が必要です

■災害ボランティアって、どんな活動するの？
被災した地域や住居が、1日でも早く元の生活に戻ることを
できるようなお手伝いをします。

＜災害ボランティア活動＞
 掃除・ゴミの回収・整理・片付け
 被災者の生活支援（食事・洗濯・洗濯物干し）
 被災者の心理的ケア（話し相手・相談相手）
 被災者の生活支援（食事・洗濯・洗濯物干し）
 被災者の心理的ケア（話し相手・相談相手）

●登録していただくと
 ●大田区における災害時に、ご参加もご案内いたします。
 ●平時には、災害ボランティアについて学べる講座や訓練
 についてご案内します。

LINEで災害ボランティア関係
 の情報をご案内します！

●登録手続き
 ●大田区災害ボランティア登録カードにご記入の
 うえ、下記までご提出ください。
 ●お申し込みは、社会福祉法人大田区社会福祉協議会
 おおた地域共生ボランティアセンター
 （住所：大田区西蒲田7-49-2）
 メールアドレス：voc@ota-shakyo.jp

☎ 03-3736-5555

LINEで
 災害ボランティア関係の情報を
 ご案内します！

登録手続

- 大田区災害ボランティア登録カードに
 ご記入のうえ、
 下記までご提出ください。

社会福祉法人大田区社会福祉協議会
 おおた地域共生ボランティアセンター
 （住所：大田区西蒲田7-49-2）

メールアドレス voc@ota-shakyo.jp

まずは
 ご登録
 ください！



↑大田区
 災害ボランティアバンク
 LINE

「登録カード」は
 こちらから
 ダウンロード
 できます！



災害ボランティア応援助成

災害救助法が適用された被災地（東京23区以外）において災害ボランティア活動を行う大田区民に対し、現地までの交通費等の一部を助成する取組です。

- ▶活動日数に応じた
 助成上限額の範囲内で、
 助成対象経費（実費）を助成。
 詳しくはホームページを
 ご覧ください。

「ご案内」は
 こちらから
 ご覧ください！



大田区民向け
**災害ボランティア応援助成
 事業のご案内**

社会福祉法人大田区社会福祉協議会
 おおた地域共生ボランティアセンター

【申請先】
 社会福祉法人大田区社会福祉協議会
 おおた地域共生ボランティアセンター
 〒107-8555 東京都大田区西蒲田7-49-2
 TEL: 3736-5555 FAX: 3736-5590
 E-MAIL: voc@ota-shakyo.jp

CSR推進【企業の地域貢献活動】



活動の紹介・ 相談を行います

これから取り組みを検討されている企業・法人のみなさまには、どのような活動に取り組まれると地域の方の期待に応えることになるのかなど、より効果的な活動のご紹介・ご相談をさせていただきます。

活動事例

● 食料の仕分けボランティア

区民の方からご寄附いただいた食料品を、食料品のカテゴリー別に仕分けする活動をしてくださっています。



▲大国屋電機工業㈱の皆さん



▲㈱エクシオテックの皆さん

● 社内フードドライブ

企業さんが、社内にてフードドライブを実施してくださっています。



▲キャノン株式会社様より

- こども食堂とのコラボイベント
- NPO団体とのコラボイベント
- ほほえみごはん事業（大田区社協の事業）のサポーター



↑詳しくは
こちらから

活動PRを お手伝いします

地域貢献活動の内容を広く地域住民の方へ周知するため、大田区社協のホームページやX(旧ツイッター)、大田区社協だより、ボランティアコミュニケーションへ掲載させていただきます。



↑X(旧ツイッター)



↑おおた社協だより

3 地域の方といっしょに活動がしたい

家庭用プリンターの 使用済インクカートリッジ回収

大田区社協では、環境にやさしい街づくりを目指し、使用済インクカートリッジの回収を行っています。

- ゴミの低減に貢献できます！
- 資源の有効活用により、地球環境に貢献できます！
- 回収されたものの一部が買取対象となり、収益となります！



回収BOXを
置いている
自治会・町会も
あります。



回収した一部を換金してお米を購入し
ひとり親家庭などに届ける活動につなげています！(9ページ参照)

※業務用のトナーカートリッジは回収しておりません。

フードドライブ



フードドライブとは

ご家庭や企業等から未利用の食料品を集めて、必要とする方々へお渡しする活動のことです。大田区社協では、ご家庭や企業・団体の方からいただいた食料を地域のこども食堂や、福祉施設、ひとり親家庭、一時的に生活に困っている世帯に対し食料品を提供する活動を行っています。ぜひ、「食」を通じた支えあい、あなたも参加してみませんか？



フードドライブに参加されたい方へ

食料品寄附にあたりご注意いただきたい点

特にお持ちいただきたい食品

- すぐに食べることができる
インスタント・レトルト食品
- 缶詰
- 菓子類(せんべい、チョコ など)
- 穀類(米、小麦粉 など)
- 調味料(食用油、醤油、味噌 など)
- 乾物(乾麺、のり、豆、海藻 など)
- 乳児用食品 など



※注意いただきたい点※

- 未開封であること
- 賞味期限が2か月以上であること
- 包装や外装が破損していないこと
- 常温保存が可能であること
- ※生鮮食品は受付できません
- アルコール類ではないこと
- ダイエット食品や栄養補助食品ではないこと
- お米は精米時期が1年以内であれば受取が可能です
- ※未開封であり、精米時期が記載されていること



フードドライブ【常設型】実施拠点

大田区内には、コンビニやスーパーに協力いただき常設型で食料品を受け付けている場所があります。HPからご確認ください。



食料品の仕分けボランティア

皆様からご提供いただいた食品は、地域のこども食堂等へ届けられる前にボランティアによって仕分け作業が行われています。

フードドライブ活動を始めてみたい方(団体・企業向け)
事前にボランティア担当へご相談ください。



ボランティア保険・行事保険

ボランティア保険とは

- ① ボランティア活動中の偶然な事故によりボランティア本人がケガをした
- ② ボランティアの方々がボランティア活動により他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償問題が生じた



①、② の場合を補償する保険です。

詳しくは
こちらから⇒



行事保険、行事保険（当日参加対応型）とは

国内において、福祉活動やボランティア活動などを目的として、または市民活動の一環として、非営利の団体が主催する行事参加中に

- ① 行事参加者が偶然な事故でケガをした場合の傷害補償
- ② 行事主催者が行事参加者など他人の身体や財物に損害を与え、行事主催者が法律上の賠償責任を負った場合の賠償責任補償

の2つの補償がセットになった保険です。

詳しくは
こちらから⇒



地域福祉活動団体支援事業及び



大田区社協では、活用して、地域福祉に取り組む団体を対象

※詳しい助成条件

地域福祉活動団体支援事業

	①通年事業助成	②イベント助成	③トライアル助成
目的	3カ月以上活動実績があり年間を通じて行う <u>地域福祉活動の経費</u> に対する助成。	地域福祉の推進を目的として区内で開催する <u>イベント経費</u> を助成。	地域福祉の推進を目的に行う事業を助成申請年度に <u>新たに立ち上げる際の経費</u> を助成。
内容	年度10万円以内の助成		年度20万円以内の助成
募集期間	年度内1回(例年4月募集)		

地域福祉のために活動したい！
そんなあなたを応援する助成事業です。



通年事業助成

ボランティア団体で年間を通して活動している！



イベント助成

子育て世代を集めたイベントをやりたい！



トライアル助成

大田区でボランティア団体を立ち上げたい！

「つどいの場」運営支援事業



「歳末たすけあい・地域ふれあい募金」を
社活動やつどいの場（サロン活動）に
象に、支援事業を行っています。

は、ホームページをご覧ください。



↑詳しくは
こちらから

「つどいの場」運営支援事業

	「つどいの場」活動助成	「つどいの場」保険
目的	身近な場所で継続的に行う 住民主体の「 <u>つどいの場</u> 」の <u>活動経費</u> を助成。	住民主体の「つどいの場」 の活動を 安全に実施できる よう支援。
条件	広く区民を対象とし、区内で実施している。 また概ね月1回以上、 かつ、5名以上の区民が参加していること。	
内容	月1～3回活動 年度3万円以内 月4回以上活動 年度5万円以内 ※3か月以上実績があること。	サロン保険代を社協が負担
募集 期間	随時受付	



↑つどいの場
一覧はこちら

おおた地域共生ボランティアセンターの 情報をチェック!

ホームページ

ボランティアさん募集の
最新情報をご覧になれます。



どこからでも

ボランティア
募集情報の
探し方

スマホで社協ホームページを開く

ボランティア募集情報を見る

ボランティアセンター
に相談してみる

気になる活動先に連絡を取る

まずは見学に行きましょう。



ボランティア・コミュニケーション

おおた地域共生ボランティアセンターが年4回発行
する広報紙です。

センターの事業やイベント、地域のボランティア情報
など役立つ情報を盛り込んでいます。ホームページ
からバックナンバーが見られます。



最新情報をフォローしよう!

https://x.com/ota_shakyo

問合せ先

社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

おおた地域共生ボランティアセンター

TEL.3736-5555 FAX.3736-5590

〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター5F

開所日時: 月~(土) 8:30~17:15 《祝日・年末年始を除く》

メール: voc@ota-shakyo.jp

<https://www.ota-shakyo.jp>

https://x.com/ota_shakyo

この情報誌
ここからも読めます!

